

川崎市、基幹 20 業務の標準準拠システムの移行先クラウドに AWS を採用し、ガバメントクラウド上に共通基盤やネットワーク環境などを構築



自治体概要

川崎市

7つの行政区からなる政令都市。多摩川を挟んで東京都と隣接し、東京へのアクセスが良いことから人口は増加傾向にあり、2024年4月に155万人を突破した。古くから産業都市として日本の高度成長を支え、現在は世界的な企業や研究開発機関が数多く立地する国際的な先端産業都市となっている。音楽や美術、スポーツの振興にも力を入れ、大きな音楽祭も毎年開催。スポーツではサッカーの川崎フロンターレやバスケットボールの川崎ブレイブサンダースなどがホームタウンとしている。



「毎月の標準化対象システムとの定例会議や ASP 業者と情報共有を行いながら、ガバメントクラウドの基本設計を行い、回線を含めた川崎市のインフラ基盤を整備しています」

根本 茂 氏

川崎市 総務企画局デジタル化施策推進室 担当係長

化対象の全 13 システムに対して実施。その結果、モダナイズした場合の机上検証の結果としてトータルでの削減が見込まれることがアセスメントの結果として試算されました。「ASP が提供する標準準拠システムが当初からモダナイズされたものであるという望みは極めて薄い状況ではありましたが、少なくとも将来的にそうなる可能性はあるものと理解したところで」（根本氏）その後、同市が単独利用するガバメントクラウドの基本設計を委任する委託業者を選定し、2023 年 7 月からガイドラインと基本設計資料の作成に着手。同年 10 月には同市が 2023 年度のガバメントクラウド早期移行団体検証事業に採択され、2024 年 2 月までにガバメントクラウドと本庁舎を接続するネットワーク回線を敷設しました。2024 年度からは運用管理補助者の支援を受けながら、前年度に作成した基本設計に基づき共通基盤やネットワーク環境の構築、アカウント環境、認証基盤、セキュリティ環境の構築、共通ファイルサーバーの導入などを進めています。一部についてはガバメントクラウドの監視、セキュリティ管理などの運用設計も開始しており、今後この共通基盤環境に他システムも載る予定です。「共通基盤の構築では、デジタル庁から提供された資料をもとに、自治体のセキュリティポリシーガイドラインとあわせて、マイナンバー利用事務系・LGWAN（地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク）接続系・インターネット接続系の 3 層分離など、自治体特有のネットワーク構成を AWS のサービスに当てはめていきました。また、本市はマルチベンダーを活用する方針で、単独・共同利用の 2 つの方式を採用するため ASP 間のネットワークや連携部分について運用管理補助者、担当 ASP と議論しながら設計しています」（根本氏）

導入効果：ガバメントクラウドの本格運用、システムのモダナイズに向けた体制整備

マルチベンダーで運用している標準化対象

の 13 システムは、2025 年度末までの完了に向けて、先行して移行したシステムについては 2025 年度から本格的な移行を開始する予定です。

ガバメントクラウドへの移行では、デジタル化施策推進室の中で AWS 認定資格を取得済みの職員がテクニカルな領域を主導していますが、プロジェクトメンバーの技術レベルの底上げを図るため、AWS が公共機関向けに無償で特別開催している「AWS クラシルームトレーニング」を数名が受講しました。AWS クラシルームトレーニングは、ロール別やソリューション別に習得したいコースを選んで上級、中級、初級コースに分かれ、1～3 日で終了します。

「AWS からの提案により無償で受講できたため、AWS の基礎から学ぶことにしました。2023 年度にデジタル化施策推進室に異動してきた私にとって、IT システムやクラウドは初めてでしたので、イメージを掴むという点で有意義なトレーニングになりました」（杉山氏）

「ドキュメントを 1 人で読み解く場合と比べて、講師の方から解説をいただくことで、AWS の思想的な部分から理解ができ、移行への足がかりをつかむことができました」（大北氏）

今後については、ガバメントクラウドへの移行と並行しながら、システム障害対策と移行後のシステムのモダナイズを進めていく方針です。川崎市 総務企画局デジタル化施策推進室の猿田裕介氏は次のように語ります。

「2025 年度以降、ガバメントクラウド上で本格運用が始まるシステムが出てきます。市の基幹業務を司るシステムでは障害が許されないため、不測の事態に備えて障害対策を強化していきます。また、コスト削減や運用の効率化のためには、システムのモダナイズも必要です。AWS には引き続きモダナイズに向けた ASP への技術支援や、運用コスト軽減に向けた提案を期待しています」



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-1-1 目黒セントラルスクエア <https://aws.amazon.com/jp/>

Copyright © 2024, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.